

バルテス株式会社

東証マザーズ
(証券コード：4442)

**2020年3月期
第2四半期決算説明資料**

2019年11月26日



1. 会社概要	P.3
2. ソフトウェアテスト市場の可能性	P.7
3. 2020年3月期第2四半期決算概況	P.10
4. 2020年3月期決算見通し	P.21
5. 今後の成長戦略	P.28

会社概要



「品質向上のトータルサポート企業」を経営方針に掲げ、事業を展開

会 社 名	バルテス株式会社
会 社 設 立	2004年4月
上 場	2019年5月
本 社 住 所	大阪市西区阿波座1-3-15（大阪本社）
事 業 内 容	ソフトウェアテストサービス 品質コンサルティングサービス ソフトウェア品質教育サービス セキュリティ・脆弱性診断サービス
子 会 社	バルテス・モバイルテクノロジー株式会社 VALTES Advanced Technology, Inc. (Philippines)
従 業 員 数	507名（2019年9月末 グループ3社計）
内、総エンジニア数	443名（2019年9月末 グループ3社計）
総 資 産	1,786百万円（2019年9月末）

社名の由来

Value created through Testing



「テストを通じて価値を創造する会社」という意味が込められています。

グループスローガン

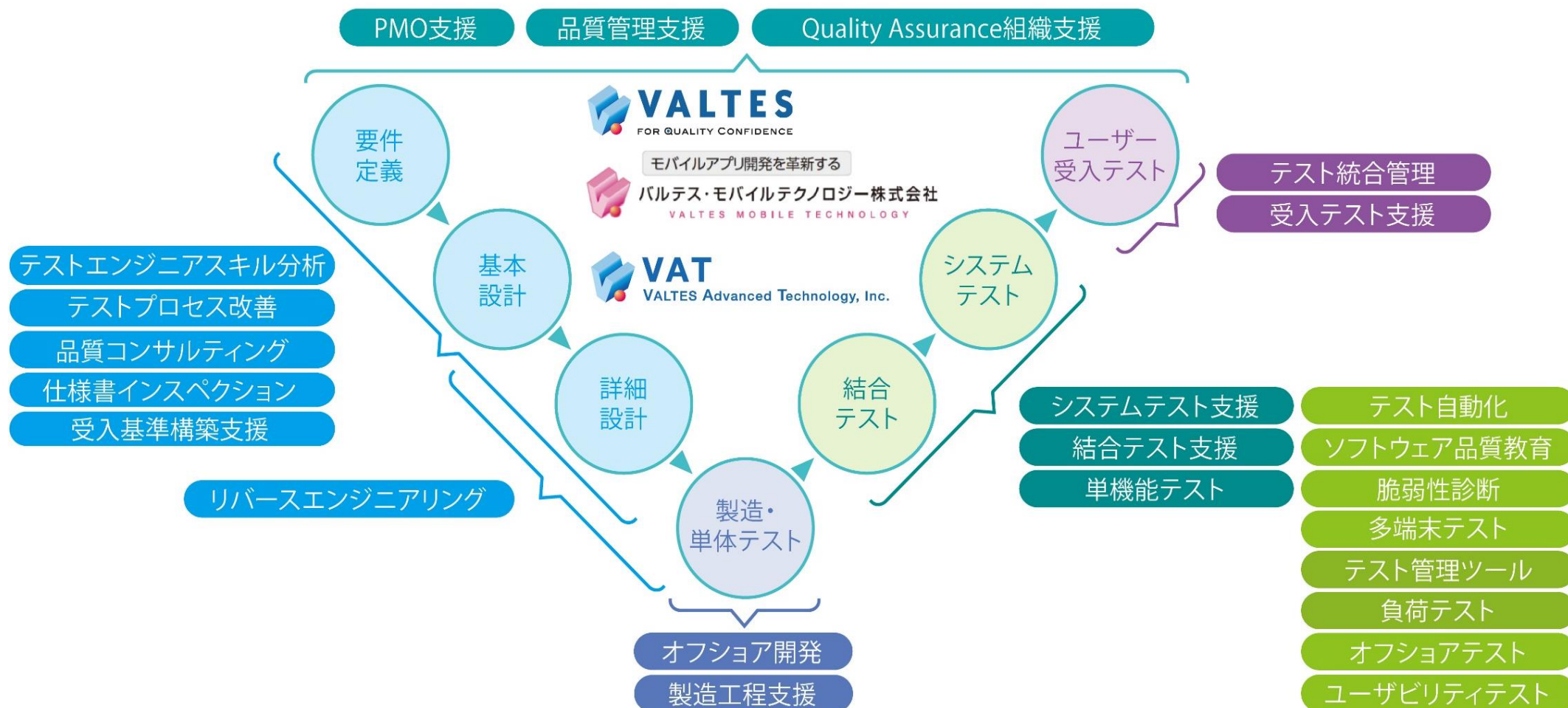
VALTES

FOR QUALITY CONFIDENCE

VALTES for Quality Confidence に込めた想い

「お客様の品質に対する自信を揺るぎないものにしたい」
技術を磨き続け、品質向上に貢献し、より良い製品で社会を豊かにする。
バルテスグループは、ソフトウェア品質のさらなる高みを目指し続けます。

ソフトウェア開発の全工程で、ソフトウェア品質の向上支援サービスを提供

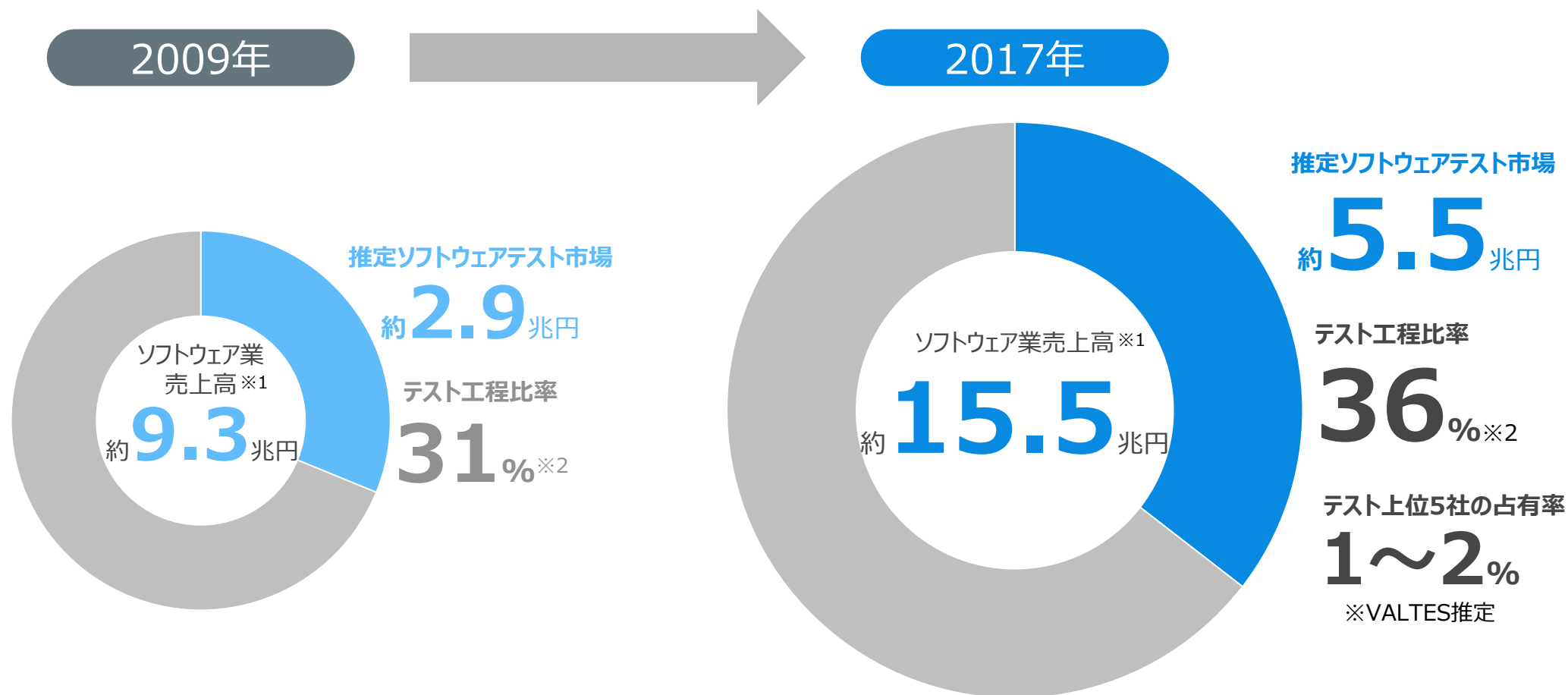


ソフトウェアテスト市場の可能性



当社が推定する日本のソフトウェアテストの市場規模は約5.5兆円

ソフトウェア業売上高に占めるテスト工程比率の推移と市場規模推計



※1 総務省・経済産業省「情報通信業基本調査」より ※2 独立行政法人情報処理機構（IPA）「ソフトウェア開発データ白書」より

ソフトウェアテストはソフトウェア開発企業から**テスト専門企業**へ

ソフトウェア開発企業の悩み

- コストが高い開発担当者の労働時間の約4割がテスト・検証に割かれる
- テスト・検証は開発者のモチベーションが上がらない為、非効率
- 開発者自身がテスト・検証を行うのは客観性が無く信頼性に欠ける

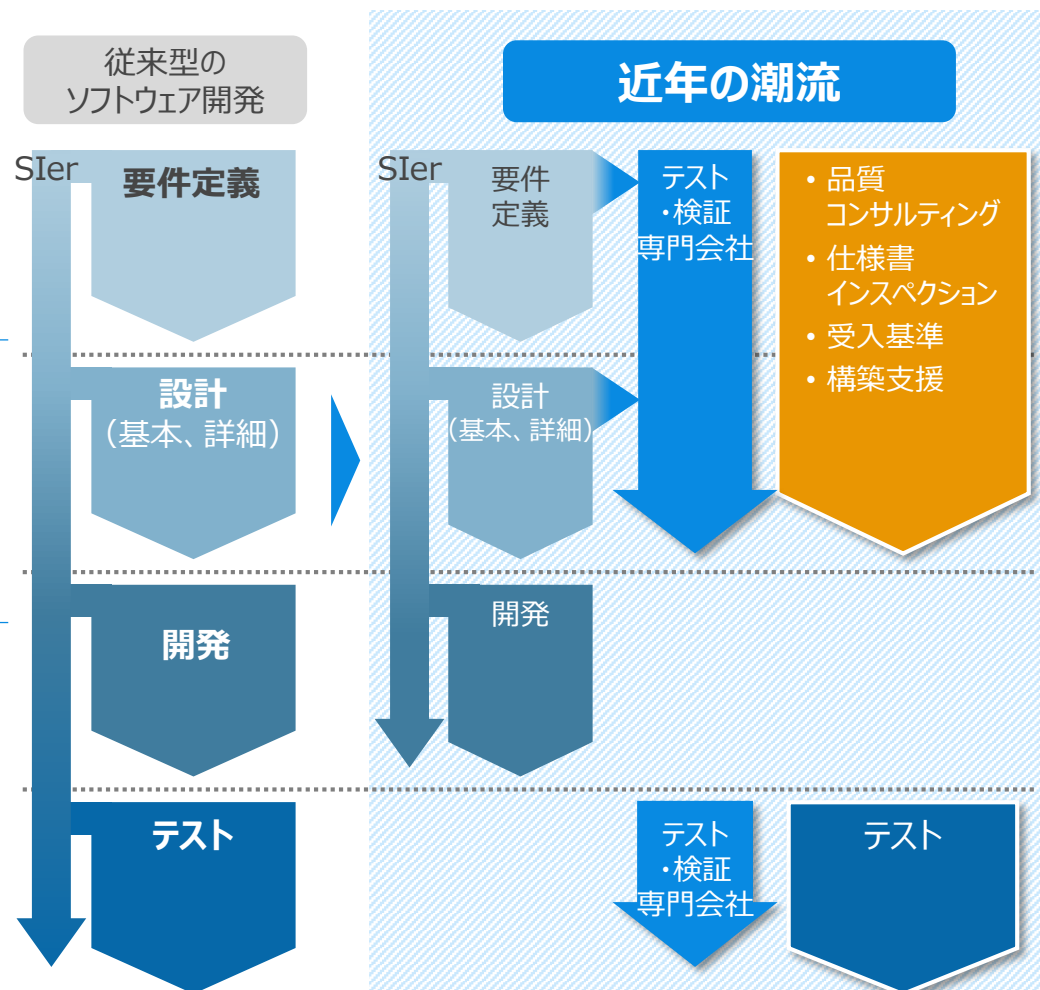
テスト工程がアウトソースされなかった理由

- 日本では大手SIerが案件を一括受注し、傘下の下請け・孫請けに発注している状況で、開発エンジニアがテスト工程まで行う構造であった

テスト工程のアウトソース化が加速！

- 第三者のテスト専門会社によるテスト・検証の有効性が注目
- 再現性・共有性の高いテストの方法論が確立（各社独自のメソッド）することで効率的なテストが実現可能に

ソフトウェア開発の業務フローの変遷



2020年3月期 第2四半期決算概況



売上高は**56.7%**増収
営業利益は**77.5%**増益

売上高

前年同期比
22.9億円 **+56.7%**

営業利益

前年同期比
0.92億円 **+77.5%**

四半期純利益

前年同期比
0.61億円 **+84.6%**

エンタープライズ領域の売上高が
2.3倍に成長したことが寄与

エンジニア数
※連結 協力会社含む

678名
(前期末比 +168名)

採用数
※連結

110名

エンタープライズ
領域の
売上高
※ソフトウェアテストサービスのみ

2.3倍!
(前年同期比)

※1 2019/3期2Qは非監査

2Q予想を上回る着地 IPOによる希薄化も、EPSは65.1%成長

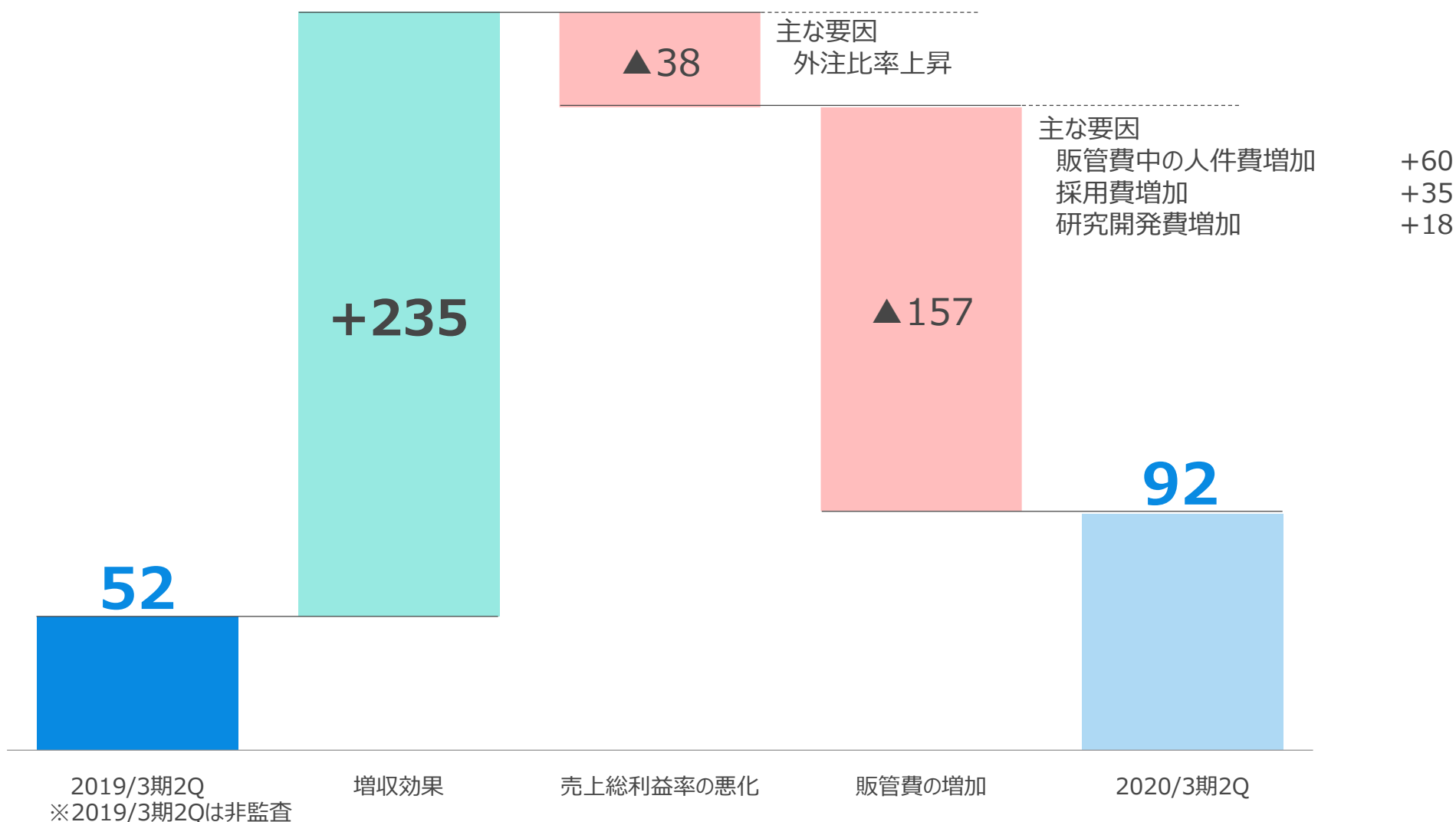
(単位：百万円)

	2019/3期2Q累計	2020/3期 2Q累計				
	前年同期実績	期初予想 (5月30日発表)	直近予想 (8月9日発表)	実績	対2Q予想比	前年同期比
売上高	1,462	1,745	2,207	2,290	+3.8%	+56.7%
売上総利益	416	474	602	614	+2.0%	+47.6%
売上比	28.5%	27.2%	27.3%	26.8%	▲0.5pt	▲1.7pt
販管費	364	484	519	521	+0.4%	+43.3%
営業利益	52	▲9	82	92	+12.4%	+77.5%
売上比	3.6%	-	3.7%	4.1%	+0.4pt	+0.5pt
経常利益	50	▲10	80	90	+12.1%	+78.9%
売上比	3.4%	-	3.6%	3.9%	+0.3pt	+0.5pt
四半期純利益	33	▲4	53	61	+14.9%	+84.6%
売上比	2.3%	-	2.4%	2.7%	+0.3pt	+0.4pt
EPS	5.65	▲0.72	8.12	9.33	+14.9%	+65.1%

※2019/3期2Qは非監査

増収により人件費等の増加を吸収し、営業利益は**77.5%成長**

(単位：百万円)



売上原価は**外注費比率**が上昇 販管費は**採用費**、**間接部門の人件費**が増加

	2019/3期 2Q 累計		2020/3期 2Q 累計			
	(百万円)	売上高比 (%)	(百万円)	売上高比 (%)	前年同期比増減 (百万円)	前年同期比 (%)
売上高	1,462	100.0	2,290	100.0	+828	+56.7
売上原価	1,045	71.5	1,676	73.2	+630	+60.3
労務費	789	54.0	1,002	43.8	+212	+26.9
外注費	194	13.3	546	23.8	+351	+180.5
その他	61	4.2	127	5.6	+66	+108.7
販管費	364	24.9	521	22.8	+157	+43.3
人件費	171	11.7	232	10.1	+60	+35.5
採用費	54	3.7	89	3.9	+35	+65.2
研究開発費	9	0.6	27	1.2	+18	+192.1
その他	129	8.8	172	7.5	+43	+33.6

※2019/3期2Qは非監査

ソフトウェアテストサービス、Web/モバイルアプリ開発サービスが成長を牽引

(単位：百万円)

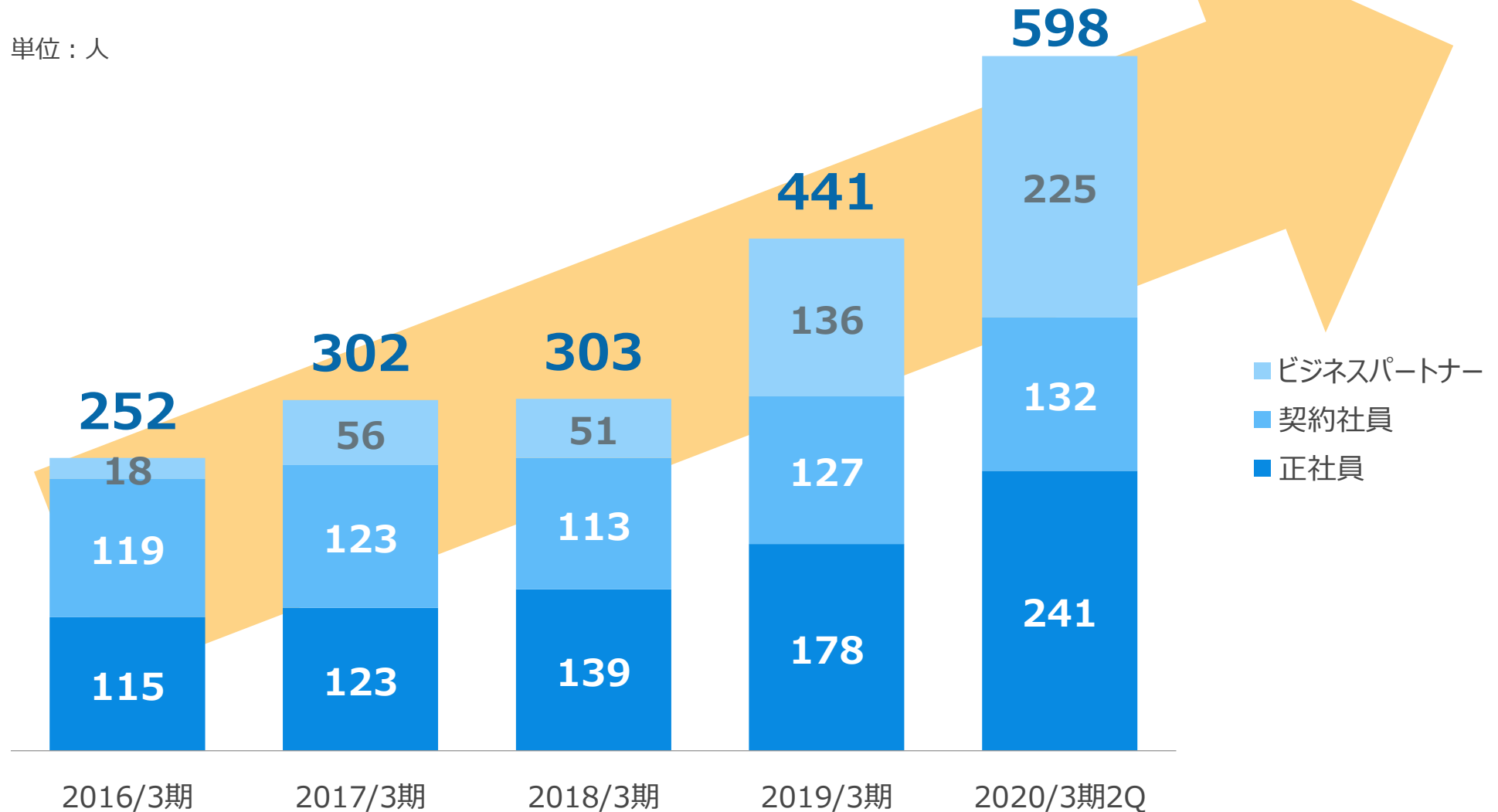
		2019/3期 2Q累計	2020/3期 2Q累計	
		前年同期実績	実績	前年同期比
ソフトウェア テストサービス事業	売上高	1,324	2,093	+58.1%
	営業利益	79	114	+43.9%
	利益率	6.0%	5.5%	▲0.5pt
	エンジニア数(人)	358人	598人	+240人
	エンジニア1人当たりの売上高(千円)	649千円	654千円	+0.7%
Web/モバイルアプリ 開発サービス事業	売上高	141	208	+46.7%
	営業利益	11	16	+46.6%
	利益率	8.2%	8.2%	± 0pt
オフショアサービス事業	売上高	19	19	▲1.2%
	営業利益	▲7	▲6	-
	利益率	-	-	-
セグメント間取引消去 及び全社費用	売上高	▲23	▲30	-
	営業利益	▲32	▲32	-
連結	売上高	1,462	2,290	+56.7%
	営業利益	52	92	+77.5%
	利益率	3.6%	4.1%	+0.5pt

※エンジニア1人当たりの売上高は、ソフトウェアテストセグメントの売上高を稼働エンジニア数で除して算出した月間売上高。

※2019/3期2Qは非監査

2018年3月末比でエンジニア数が**約2倍**に増加

単位：人



※期末時点の在籍エンジニア数。

重点領域であるエンタープライズ領域が2.3倍に成長

エンタープライズ領域

特徴

- 単価 **高** 案件規模 **大** 契約期間 **長**
- システム開発、業務知識など、テスト以外の知識が求められる **難易度 高**
- **上流工程**からの品質支援に対する顧客ニーズ

当社の取組み

- 経験豊富な**ハイレイヤーの採用**
- エンタープライズ領域に強い人材を供給可能な**外部協力会社との取引拡大**
- 長年蓄積された質、量ともに豊富な**当社のテストノウハウ**
- テストノウハウをプログラム化した実践的な研修を**全員が受講**

テスト工程の周辺市場との比較

 当社の事業領域

	テスト工程市場			
	エンタープライズ系	組込み系	Web・スマホ系	エンターテインメント系
潜在市場規模	巨大	大	中	小
市場ステージ	黎明期	黎明期	成長期	成熟期
参入障壁	高い	高い	中	低い

↓

エンタープライズ領域の売上高

2.3倍

上場時の公募（自己株式の処分）等により、現預金と株主資本が増加

(単位：百万円)

	2019/3 期末	2020/3期 2Q末	前期末差
資産の部			
現金及び預金	292	817	+524
売掛金	518	555	+37
流動資産合計	882	1,455	+573
有形固定資産	84	135	+51
投資その他の資産	193	188	▲4
固定資産合計	285	330	+45
資産合計	1,167	1,786	+619

	2019/3 期末	2020/3期 2Q末	前期末差
負債の部			
買掛金	73	114	+41
短期有利子負債	135	115	▲19
流動負債合計	705	692	▲13
長期有利子負債	42	6	▲36
固定負債合計	47	10	▲36
負債合計	753	702	▲50
純資産の部			
株主資本合計	412	1,081	+668
純資産合計	414	1,083	+669
負債純資産合計	1,167	1,786	+619

法人税等支払額の増加などにより、フリーキャッシュフローは▲23百万円へ

(単位：百万円)

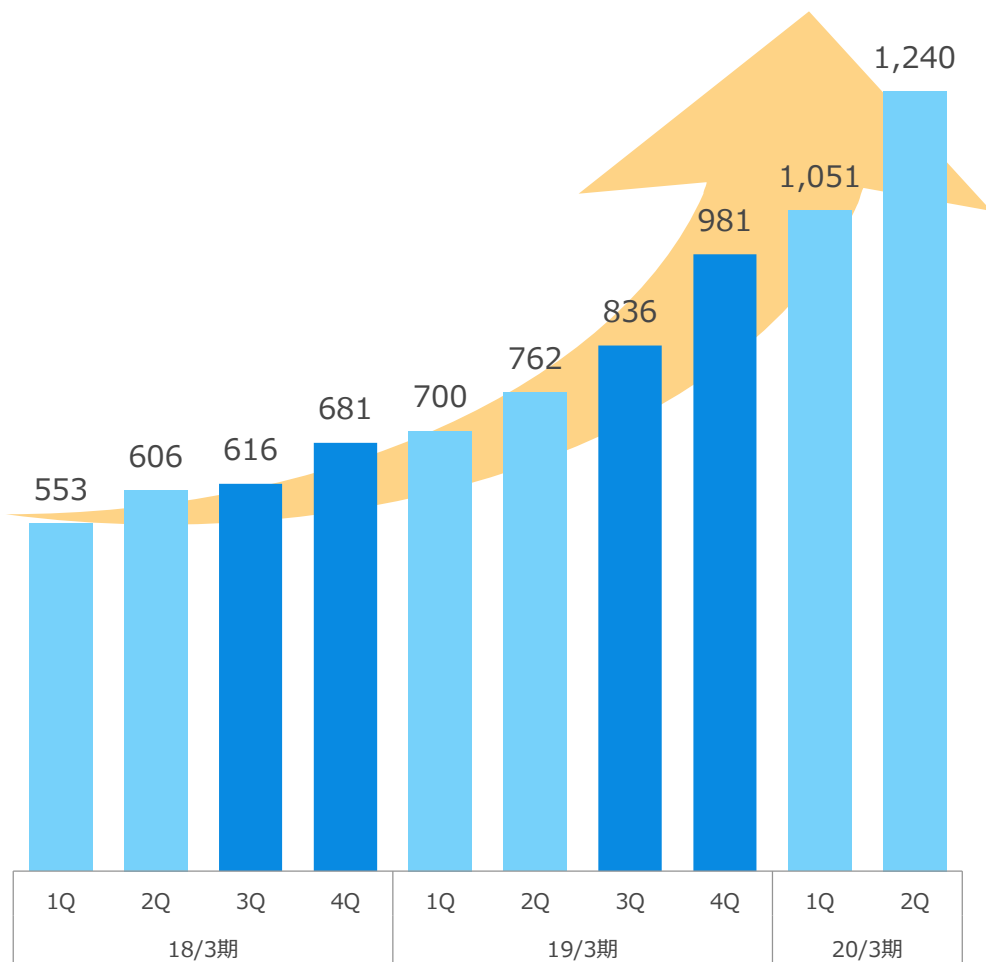
	2019/3期 2Q累計	2020/3期 2Q累計	
			前年同期比
営業CF	123	18	▲105
税金等調整前当期純利益	50	90	+39
売上債権の増減	27	▲39	▲66
仕入債務の増減	3	41	+38
法人税等支払額	▲1	▲58	▲57
投資CF	▲39	▲41	▲2
有形固定資産取得	▲35	▲35	+0
無形固定資産取得	0	▲2	▲2
FCF※1	84	▲23	▲107
財務CF	▲2	547	+549
有利子負債増減	▲2	▲55	▲53
自己株式の処分による収入	-	603	+603

※2019/3期2Qは非監査 注釈(1)：FCF(フリー・キャッシュフロー)は、営業CFと投資CFの合算値

売上高はQtoQで**拡大** 上期の人材投資比重が高く利益は**下期偏重**

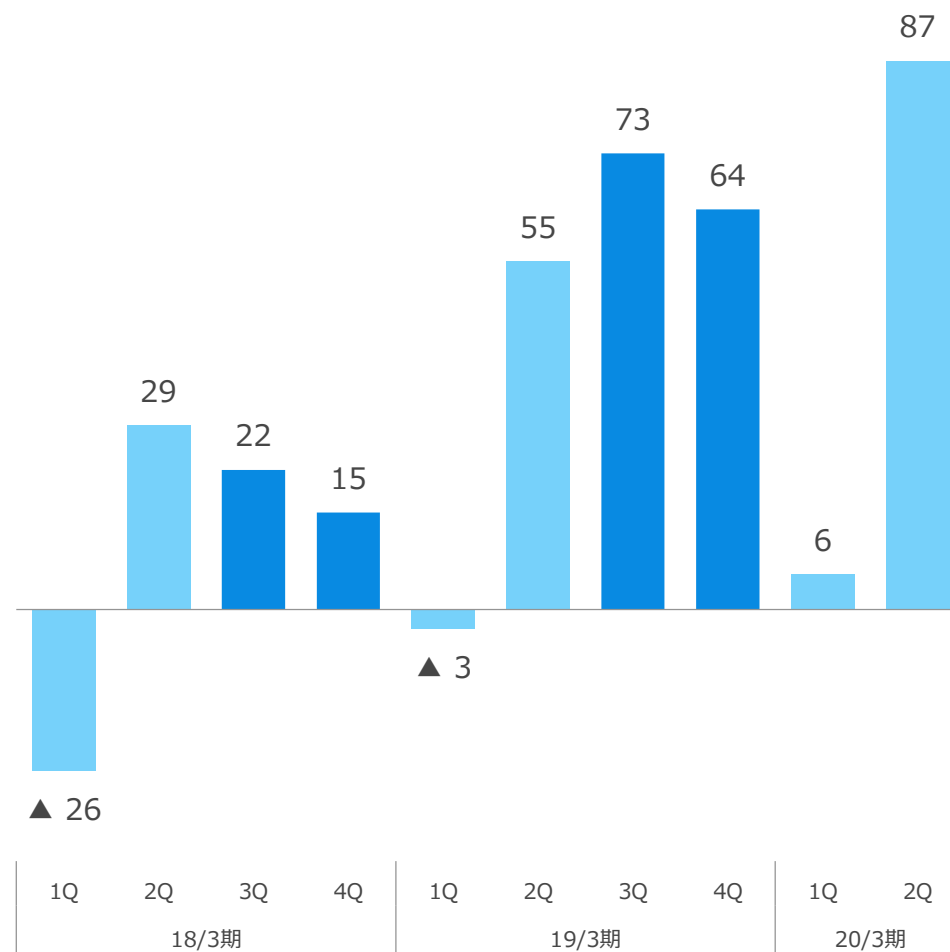
売上高

(単位：百万円)



営業利益

(単位：百万円)



2020年3月期 決算見通し



成長エンジンとなる人材・技術への投資を強化も、増益は確保

売上高

44.9 億円

前期比

+37.1 %

営業利益

2.7 億円

前期比

+47.4 %

当期純利益

1.9 億円

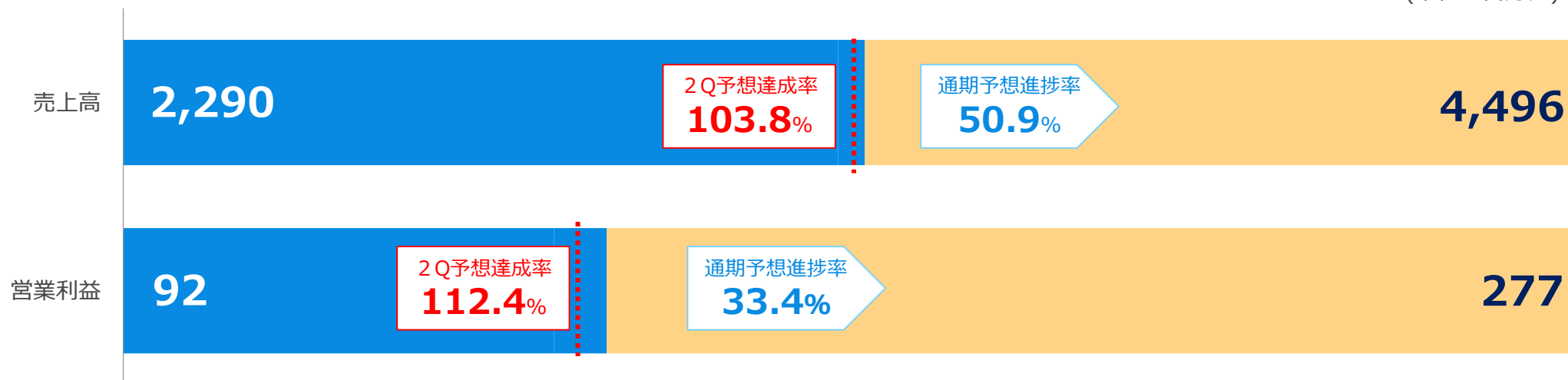
前期比

+31.3 %

過去の2Q進捗率を上回る勢いで順調に推移

■ 2Q実績 ■ 通期予想 ... 2Q直近予想ライン □ 直近予想達成率

(単位：百万円)



	2017/3期		2018/3期		2019/3期	
	上期	通期	上期	通期	上期	通期
営業利益	▲31	91	4	41	52	188
進捗率	▲34.0%	100.0%	9.0%	100.0%	27.8%	100.0%

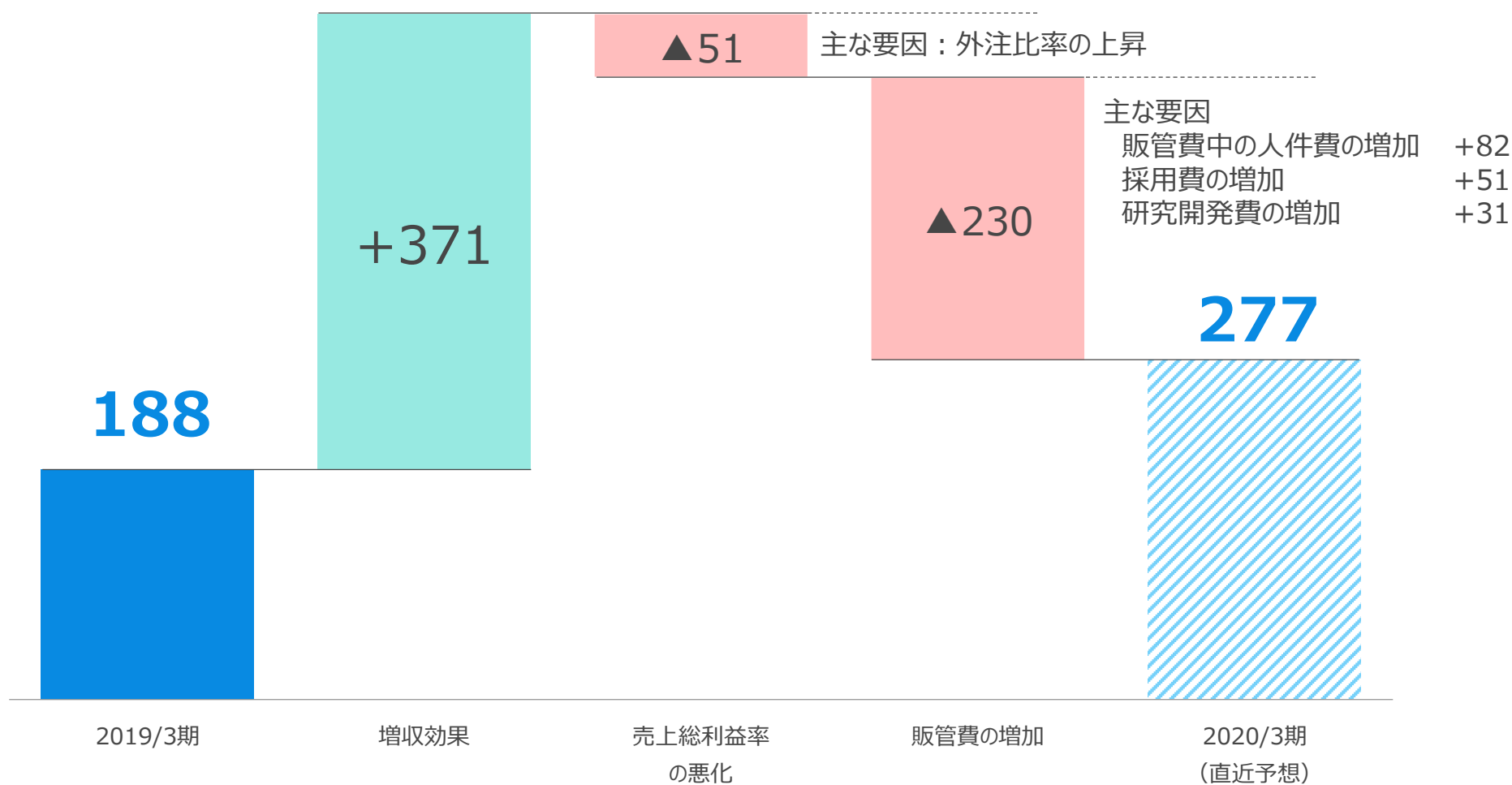
8月9日に通期予想を**上方修正** エンジニアの確保が順調に進み**増収増益**へ

(単位：百万円)

	2019/3期	2020/3期		
	前年通期実績	通期期初予想 (5月30日発表)	通期予想 (8月9日発表)	前期比
売上高	3,279	3,884	4,496	+37.1%
売上総利益	999	1,154	1,319	+32.0%
売上比	30.5%	29.7%	29.3%	▲1.2pt
販管費	811	936	1,041	+28.5%
営業利益	188	217	277	+47.4%
売上比	5.7%	5.6%	6.2%	+0.5pt
経常利益	187	218	277	+48.4%
売上比	5.7%	5.6%	6.2%	+0.5pt
当期純利益	147	153	194	+31.3%
売上比	4.5%	3.9%	4.3%	▲0.2pt
EPS (円)	25.08	23.19	28.83	+15.0%

外注費・販管費の増加を増収により吸収

(単位：百万円)



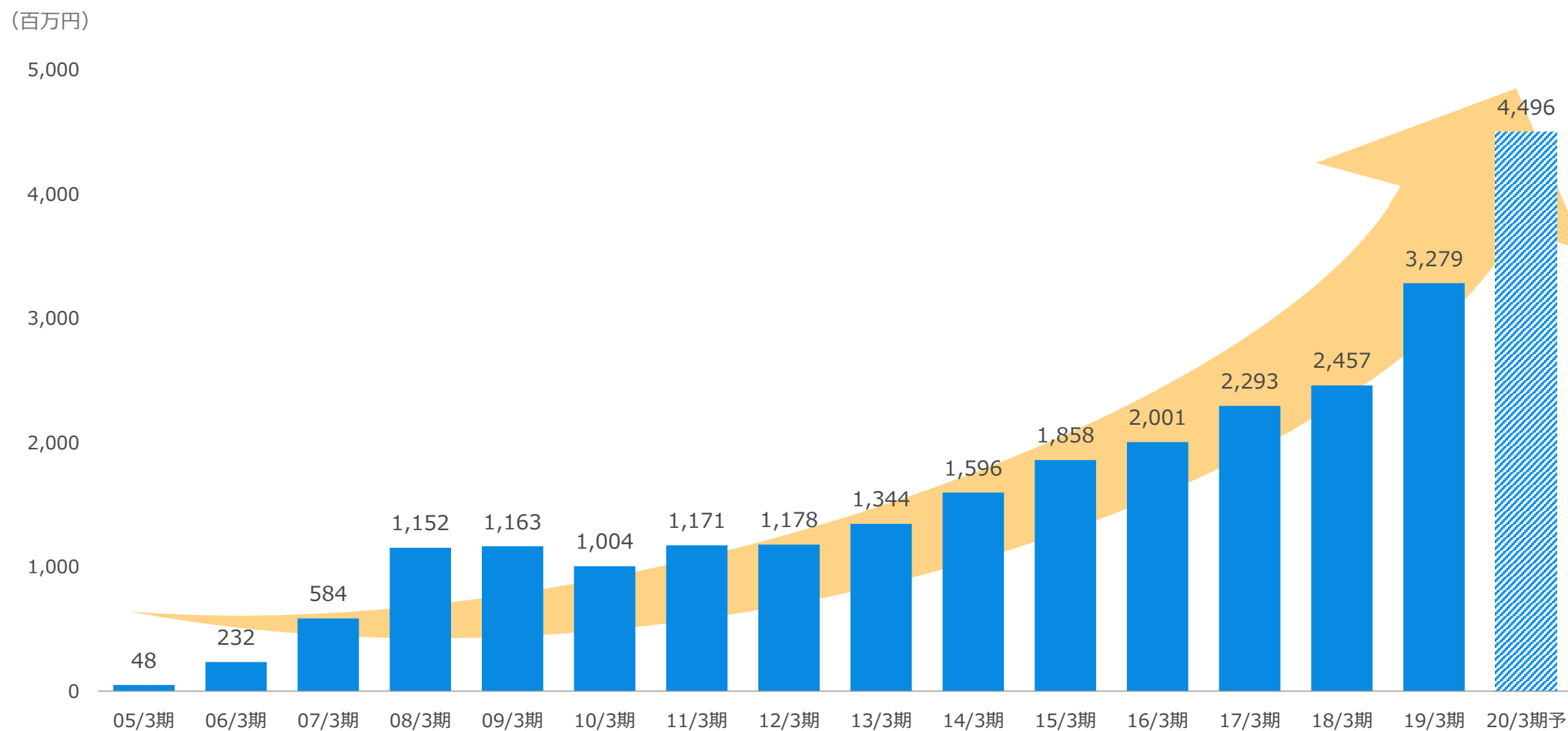
上半期採用者の稼働が**収益貢献** 人材・研究開発投資の増加も**吸収**

	2019/3期		2020/3期見通し		
	(百万円)	売上高比 (%)	(百万円)	売上高比 (%)	前期比 (%)
売上高	3,279	100.0	4,496	100.0	+37.1
売上原価	2,279	69.5	3,177	70.7	+39.4
労務費	1,616	49.3	1,998	44.4	+23.6
外注費	488	14.9	929	20.7	+90.2
その他	174	5.3	250	5.6	+43.3
販管費	811	24.7	1,041	23.2	+28.5
人件費	388	11.8	470	10.5	+21.2
採用費	119	3.6	170	3.8	+43.3
研究開発費	30	0.9	62	1.4	+100.8
その他	272	8.3	338	7.5	+24.1

※2019/3期2Qは非監査

対前期37%成長で、10期連続増収へ

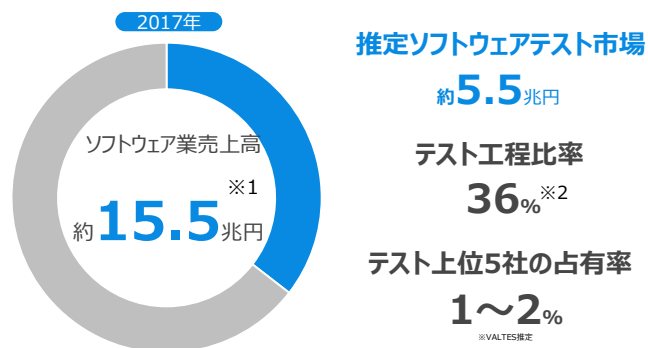
売上高の推移



今後の成長戦略



ソフトウェア売上高に占めるテスト工程比率の推移と市場規模推計



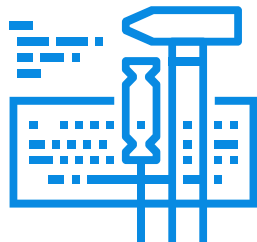
※1 総務省・経済産業省「情報通信業基本調査」より
※2 独立行政法人情報処理機構 (IPA) 「ソフトウェア開発データ白書」より

高いソフトウェアテスト市場の可能性

優秀な人材の確保と
研修・戦力化



新規技術の開発への
積極投資



グループシナジー
の強化

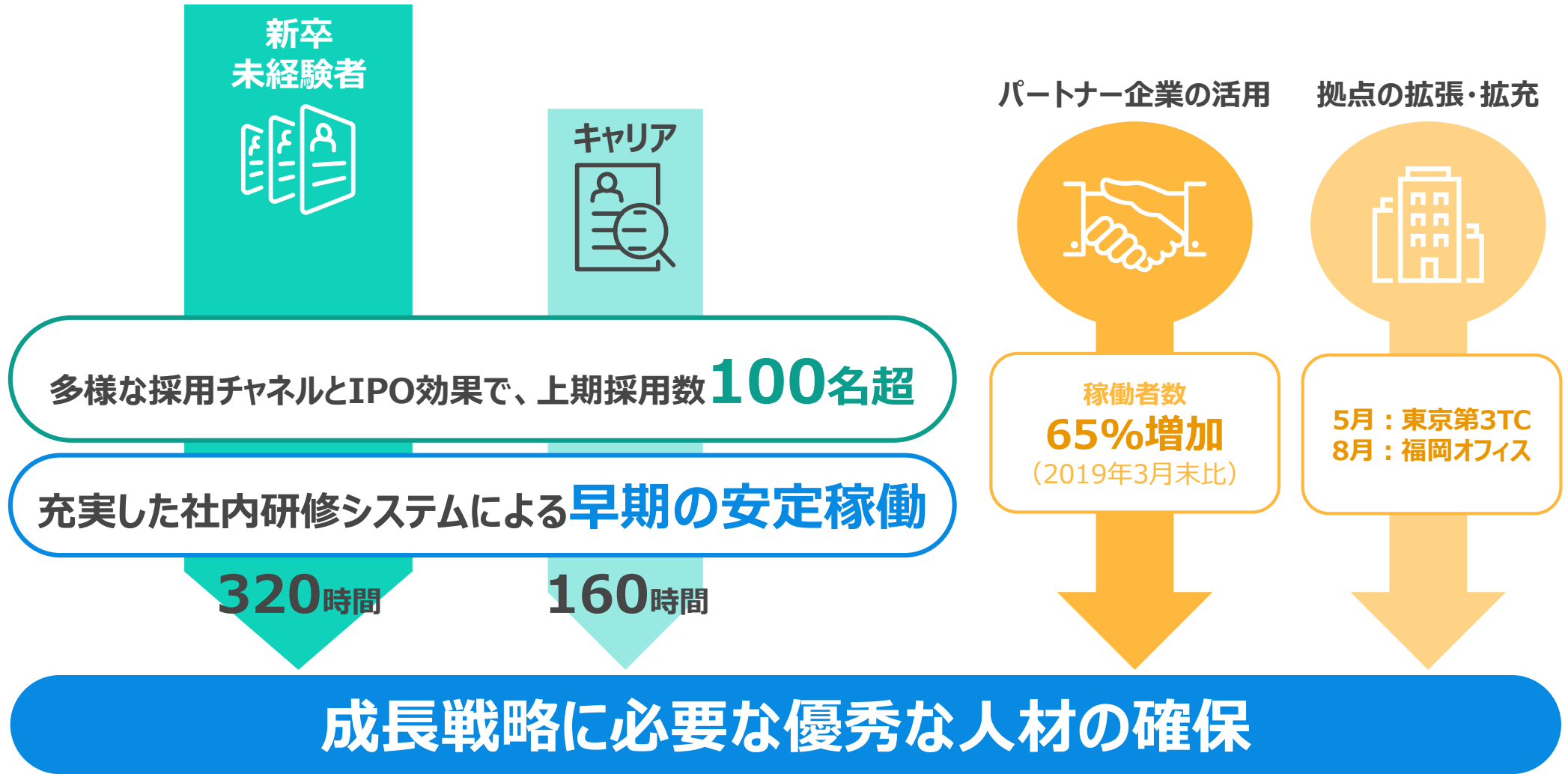
FOR QUALITY CONFIDENCE

モバイルアプリ開発を革新する

バルテス・モバイルテクノロジー株式会社

VAT
VALTES Advanced Technology, Inc.

「自社+パートナー企業」により、人材確保体制を**更に強化**



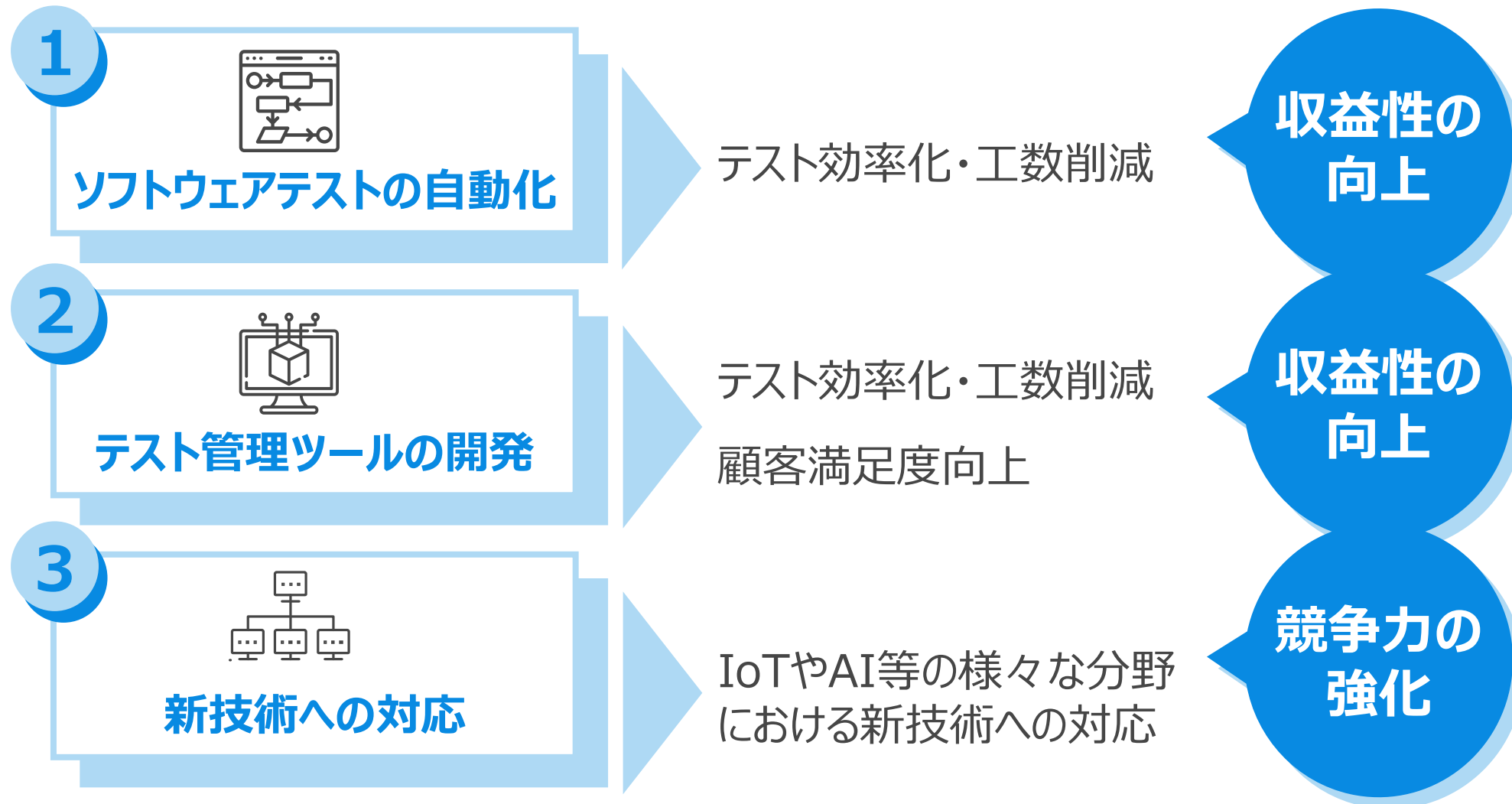
JSTQB保有率 **92%以上***

*入社2年目以降の正社員取得率

日本で唯一のグローバルパートナー



内部留保とのバランスを意識しつつ、新技術の開発に積極的に投資



「Japan Qualityを世界に」発信し、世界のソフトウェアテスト市場を狙う



ソフトウェアテストサービス

Japan Quality を世界に！

培ったバルテスのメソッドをVATに移管。

グループシナジーを強化し、
世界のソフトウェアテスト市場での
シェア拡大も図る



モバイルアプリ開発を革新する

バルテス・モバイルテクノロジー株式会社
VALTES MOBILE TECHNOLOGY

Web/モバイルアプリ開発サービス

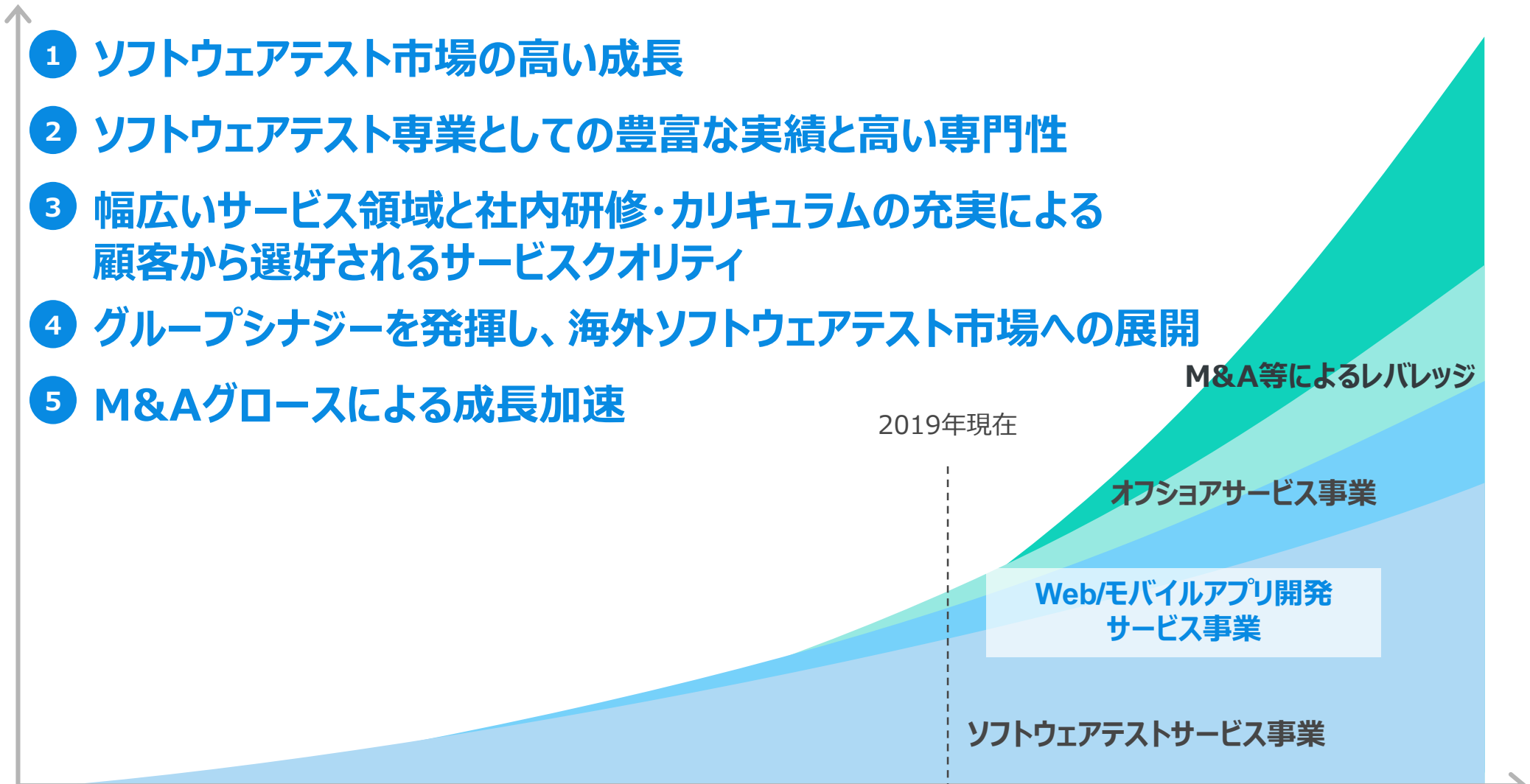


VAT
VALTES Advanced Technology, Inc.

オフショアサービス

中期的にはM&Aも視野に、一層の収益拡大を図る

- 1 ソフトウェアテスト市場の高い成長
- 2 ソフトウェアテスト専業としての豊富な実績と高い専門性
- 3 幅広いサービス領域と社内研修・カリキュラムの充実による顧客から選好されるサービスクオリティ
- 4 グループシナジーを発揮し、海外ソフトウェアテスト市場への展開
- 5 M&Aグロースによる成長加速



ご清聴ありがとうございました

ご留意事項

本資料には、当社グループの現在の計画や業績見通しなどが含まれております。
これらの将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに当社が計画・予想したものであります。
実際の業績などは、今後の様々な条件・要素により、この計画・予想などとは異なる場合があります。
この資料は その実現を確約したり、保証するものではありません。
なお、この資料への公認会計士、監査法人の関与はございません。